



～ラン・ランとソニーによるクラシック音楽体験～

音響技術でソニービルがウィーンのコンサートホールに

ソニー株式会社

CPSG HE 事業本部 HAV 事業部

安藤 治子

ソニーのショールーム、銀座ソニービル 8F OPUS にて、2011年10月10日～10月23日にかけて「Welcome to LANG LANG WORLD ラン・ランとソニーによるクラシック音楽体験イベント」が開催されました。

このイベントは、ソニーのブランドアンバサダーであるクラシックピアニスト、ラン・ランのニューアルバム「リスト・マイ・ピアノ・ヒーロー」などのコンテンツを用いて、マルチチャンネルインテグレートアンプ『TA-DA5700ES』や 7.1ch デジタルサラウンドヘッドホン『MDR-DS7500』などにより、あたかも「ウィーン楽友協会、黄金のホール」で演奏を聴いているかのような 3D 音場を再現。今までにないユーザーエクスペリエンスを、ソニーの音響技術と最新 AV 機器群を駆使して実現するイベントでした。



使用された主な AV 機器

(左から)「TA-DA5700ES」、「SS-AR1」、「SS-AR2」、「MDR-DS7500」

◆ ソニーの音響技術で「ウィーン楽友協会、黄金のホール」の 3D 音場をソニービルで再現

今回のイベントは、ラン・ランの楽曲をお客様に、いかに最高の音環境で聴いていただくかを最重要課題と考え、彼のアルバムが 2010 年、2011 年ともに「楽友協会」で収録されていること

から、「ソニービル 8F OPUS を、楽友協会にしてみよう!」、というコンセプトが決定、準備が始まりました。

ソニーのアンプには、さまざまな音場をご家庭に再現する機能が搭載されていますが、今回の『TA-DA5700ES』では、著名なヨーロッパの音楽ホールの音場を再現できる、「[トゥルー・コンサート・マッピング A/B](#)」モードのデータをリニューアルしていて、実はその一つが、ウィーン楽友協会なのです。

音場を研究し、『TA-DA5700ES』の開発にも関わっている技術開発のスタッフが、オーストリアまで出向き、楽友協会の音場を測定しています。収集した「音」のデータを帰国後に解析し、『TA-DA5700ES』にプログラミング、商品に反映され、イベント会場となる OPUS では、楽友協会の音場を再現することが可能となりました。



楽友協会と音場測定風景



「楽友協会を再現した」『TA-DA5700ES』



フロントハイスピーカーを使った 8.1ch 再生

イベントでは、実際にウィーン楽友協会に収録された最新アルバム「リスト・マイ・ピアノ・ヒーロー」よりウィーンフィルと演奏した「リスト ピアノ協奏曲第一番」や、昨年リリースされたアルバム「ライヴ・イン・ウィーン」より「プロコフィエフ ピアノ・ソナタ第7番」の第3楽章を、『TA-DA5700ES』や3ウェイ・スピーカーシステム『SS-AR1』4本、『SS-AR2』2本、フロント・ハイ・スピーカーを含む合計 8.1ch の環境でお聴いただきましたが、本当にコンサートホールで聴いているかのように感じられたと、多くのお客様から嬉しいコメントを頂きました。



リスト・マイ・ピアノ・ヒーロー
(ESCC-32 / エピックレコードジャパン)

また、最新のデジタルサラウンドヘッドホンシステム『[MDR-DS7500](#)』を用いて、「ショパンワルツ第2番『華麗なる円舞曲』」をお聴きいただきましたが、ヘッドホンをかけていることを忘れてしまいそうな臨場感をご体験頂く事が出来ました。

◆「ラン・ランがソニービルへやってくる！」来日記念イベント

初日の特別企画として10月10日にラン・ラン本人がソニービルに登場し、マスコミ向けに「ラン・ランがソニービルへやってくる！」と題した来日記念イベントが開催されました。

会場となった銀座ソニービル OPUS には、一般の招待客 約 80 名とマスコミ各社から約 20 名の記者の方々が来場されていましたが、イベント開始 30 分前からすでに開場を待つ行列ができており、参加された皆さんの関心の高さが伺われました。



ソニービルの壁面にイベントの告知



開場を今か今かと待ちわびるお客様

「まるでウィーンのコンサートホールにいるかのような迫力の 3D 音場、ご家庭に今までにない映像エンタテインメントを、ソニーの高い技術力と総合力によって実現しました」とのオープニングの説明に続き、ラン・ランのニューアルバム「リスト・マイ・ピアノ・ヒーロー」から「ピアノ協奏曲第1番」や「ラ・カンパネラ」、また、「のだめカンタービレ」や「グランツurisモ5」のメイキング映像などが披露されました。



ラン・ランの音と映像を楽しむお客様



エントランスのディスプレイに大満足のラン・ラン

その後、上映コンテンツにも含まれていた「ラ・カンパネラ」のラン・ラン本人による演奏が披露されました。流石は世界的ピアニスト！ライブで流れる出す音の美しさと、彼の演奏パフォーマンスが間近に迫るその迫力に、会場の全ての人が魅了され聴き惚れていました。

ラン・ラン本人の挨拶では、参加された皆様への感謝とともに、「ソニーが実現した、ソフトとハード、テクノロジーと音楽のコンバージェンス」、そして、ソニーの高い技術力へ賛辞が述べられました。



来場者に囲まれ、フォトセッションは多いに盛り上がりました